

演題名	演者	所属	共同演者	回	学会名	年月日	場所
国内学会での日本語発表/講演							
咽頭腔を閉鎖し呼吸困難を呈した神経鞘腫の一例	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	長井今日子・鎌田英男・安岡義人・古屋信彦	63	日耳鼻群馬県地方部会	1999/12/19	前橋
咽頭腔を閉鎖し呼吸困難を呈した神経鞘腫の一例	坂倉浩一	社会保険群馬中央総合病院	長井今日子・鎌田英男・安岡義人・古屋信彦	62	耳鼻咽喉科臨床学会	2000/6/29-30	福井
当院におけるPRSPの統計的考察	坂倉浩一	社会保険群馬中央総合病院	竹越哲男・柴崎真由美・古川迪代・古屋信彦	4	肺炎球菌等による市中感染症研究会	2000/9/17	東京
過去5年間における群馬県での耳の日の補聴器相談の現況	坂倉浩一	社会保険群馬中央総合病院	長井今日子・亀森真理子・塚田晴代・宮下賢次・工藤毅・井上貴洋・古屋信彦	45	日本聴覚医学会	2000/10/5	東京
群馬中央総合病院における細菌感受性動向について	坂倉浩一	社会保険群馬中央総合病院	竹越哲男・柴崎真由美・古川迪代・古屋信彦	4	群馬小児感染免疫研究会幹事会	2001/3/15	高崎
群馬中央総合病院における細菌感受性動向について	坂倉浩一	社会保険群馬中央総合病院	竹越哲男・柴崎真由美・古川迪代・古屋信彦	4	群馬小児感染免疫研究会学術講演会	2001/7/12	前橋
当院における薬剤耐性菌による乳幼児の急性中耳炎と抗生剤使用について	坂倉浩一	社会保険群馬中央総合病院	竹越哲男・柴崎真由美・古川迪代・古屋信彦	69	日耳鼻群馬県地方部会	2001/12/9	前橋
当院における薬剤耐性菌による乳幼児の急性中耳炎と抗生剤使用について	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	竹越哲男・柴崎真由美・古川迪代・古屋信彦	5	群馬小児感染免疫研究会幹事会	2002/3/14	高崎
当院における薬剤耐性菌による乳幼児の急性中耳炎と抗生剤使用について	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	竹越哲男・柴崎真由美・古川迪代・古屋信彦	50	日本化学療法学会	2002/5/9-11	神戸
当院における薬剤耐性菌による乳幼児の急性中耳炎と抗生剤使用について	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	竹越哲男・柴崎真由美・古川迪代・古屋信彦	5	群馬小児感染免疫研究会学術講演会	2002/7/11	前橋
重症先天性喉頭嚙み43例の臨床的検討	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	安岡義人・二宮洋・岡宮智史・長井今日子・古屋信彦	54	日本気管食道科学会	2002/11/8-9	大阪
小児の気道感染に伴う薬剤耐性H. influenzaeによる急性中耳炎～市中病院における2年10ヶ月間の症例の検討～	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	竹越哲男・柴崎真由美・古川迪代・古屋信彦	47	小児耳鼻咽喉科研究会	2002/12/8	東京
HLA-A2拘束性anti-p53(322-330) specific CTLの誘導	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	近松一朗・村田考啓・古屋信彦	21	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2003/2/13-14	鹿児島
2002年の細菌薬剤感受性と上気道細菌叢サーベイランスについて	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	竹越哲男・柴崎真由美・古川迪代・古屋信彦	6	群馬小児感染免疫研究会幹事会	2003/3/26	高崎
Anterior & posterior cricoid splitを施行した小児喉頭閉鎖の一例	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	安岡義人・二宮洋・蓮見充啓・長井今日子・井上貴洋・古屋信彦	74	日耳鼻群馬県地方部会	2003/6/9	前橋
2002年の細菌薬剤感受性と上気道細菌叢サーベイランスについて	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	竹越哲男・柴崎真由美・古川迪代・古屋信彦	6	群馬小児感染免疫研究会学術講演会	2003/7/24	前橋
Tone burst-evoked myogenic potentials in rat neck extensor and flexor muscles	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	宮下元明・近松一朗・高橋克昌・古屋信彦		平成15年度大学院研究発表会	2003/9/30	前橋
Anterior & posterior cricoid splitを施行した小児喉頭閉鎖の一例	坂倉浩一	群馬大学医学部耳鼻咽喉科	安岡義人・二宮洋・蓮見充啓・長井今日子・井上貴洋・古屋信彦	55	日本気管食道科学会	2003/10/30-31	福岡
音刺激によりヒト後頭部に誘発される筋電位	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	安岡義人・二宮洋・蓮見充啓・長井今日子・井上貴洋・川田倫之・萩原竜次・古屋信彦	62	日本めまい平衡医学会	2003/11/27-28	新横浜
頭頸部癌患者の免疫抑制機構における樹状細胞とT細胞の関与	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗・村田考啓・福田洋一郎・古屋信彦	22	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2004/3/25-27	札幌
口腔癌のセンチネルリンパ節における樹状細胞の検討	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗・村田考啓・古屋信彦	100	日本耳鼻咽喉科学会総会	2004/5/13-15	広島
鼓室形成術の術前後に検出される微生物の検討	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	古屋信彦	52	日本化学療法学会	2004/6/3-4	宜野湾
鼓室形成術の術前後に検出される微生物の検討	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	川田倫之・古屋信彦	77	日耳鼻群馬県地方部会	2004/6/13	前橋
ハネルディスカッション「難治性中耳炎の治療」1.感染耳に対する鼓室形成術	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	櫻井努・福田洋一郎・近松一朗・川田倫之・安岡義人・古屋信彦	10	日耳鼻北関東連合会	2004/9/5	高崎
頭頸部扁平上皮癌患者における免疫抑制機構の解析	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗	63	日本癌学会総会	2004/9/29-10/	福岡
音刺激によりヒト後頭部に誘発される筋電位	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	高橋克昌・古屋信彦	51	北関東医学会	2004/10/7	前橋
教育講演「VEMP ～その基礎と臨床応用～」	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学		63	日本めまい平衡医学会	2004/11/17-19	高崎
VEMPとcaloric testとの相関	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	高橋克昌・古屋信彦	63	日本めまい平衡医学会	2004/11/17-19	高崎
VEMP ～ 動物モデルから臨床応用へ ～	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学			群馬大学耳鼻咽喉科同門会総会	2005/1/23	前橋
頭頸部癌患者におけるwild-type p53特異的CTL precursor cellsの同定	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗・福田洋一郎・紫野正人・古屋信彦	23	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2005/3/3-5	岡山
頭頸部扁平上皮癌患者におけるwild-type p53特異的CTL precursor cellsの同定	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗・古屋信彦	29	日本頭頸部癌学会	2005/6/16	新宿
p53蛋白の過剰発現とwild-type p53特異的CTL responseとの関係	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗	64	日本癌学会総会	2005/9/16	札幌
頭頸部扁平上皮癌患者における免疫抑制機構の解析	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗・古屋信彦	52	北関東医学会	2005/9/29-30	前橋
頭頸部扁平上皮癌症例におけるwild-type p53特異的CTL response	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗・古屋信彦	81	日耳鼻群馬県地方部会	2005/12/11	前橋
頭頸部扁平上皮癌患者末梢血中CTLのHLA class I拘束性wild-type p53ペプチドに対する反応	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗・福田洋一郎・古屋信彦	24	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2006/3/2-4	鳥羽
入院を要した重症小児喉頭喘鳴59例の臨床的検討	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	豊田実・長井今日子・安岡義人・古屋信彦	83	日耳鼻群馬県地方部会	2006/6/4	前橋
頭頸部扁平上皮癌患者末梢血中のHLA class I拘束性wild-type p53ペプチド特異的CTL反応の解析	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗・古屋信彦	30	日本頭頸部癌学会	2006/6/14-16	大阪
入院を要した小児重症喉頭喘鳴における治療と予後の解析	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	長井今日子・安岡義人・古屋信彦	1	日本小児耳鼻咽喉科学会	2006/6/30-7/1	奈良
HLA class I拘束性wild-type p53ペプチドに対する頭頸部扁平上皮癌患者末梢血中CTLの特異的免疫応答	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗	10	基盤的癌免疫研究会	2006/7/13-14	札幌
頭頸部癌細胞株Gun-1の樹立と腫瘍特異的免疫応答の誘導	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科学	近松一朗・古屋信彦	86	日耳鼻群馬県地方部会	2007/3/18	前橋

頭頸部扁平上皮癌細胞株Gun-1の樹立と患者末梢血における腫瘍特異的免疫応答の誘導	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科聴平衡外科科学 Department of Surgery, University of Pittsburgh Cancer Institute	近松一朗・古屋信彦	25	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2007/3/29-30	甲府
癌免疫療法の展望と限界	坂倉浩一	国立病院機構静岡医療センター耳鼻咽喉科	S Ferrone, TL Whiteside, 近松一朗, AB DeLeo, X	19	静岡頭頸部癌研究会	2010/9/11	静岡
頭頸部癌に対する特異的免疫療法の開発に向けて	坂倉浩一	国立病院機構静岡医療センター耳鼻咽喉科	近松一朗	29	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2011/2/10-12	大分
頭頸部扁平上皮癌における癌抗原CSPG4の発現と抗原特異的免疫応答の誘導	坂倉浩一	国立病院機構静岡医療センター耳鼻咽喉科	近松一朗	92	日耳鼻静岡県地方部会	2011/4/10	三島
頭頸部癌における癌抗原CSPG4発現と癌ワクチン開発に向けた基礎研究	坂倉浩一	国立病院機構静岡医療センター耳鼻咽喉科	S Ferrone, TL Whiteside, 近松一朗, AB DeLeo, X	35	日本頭頸部癌学会	2011/6/9-10	名古屋
癌抗原CSPG4の頭頸部扁平上皮癌における発現とex vivoでの特異的免疫応答の誘導	坂倉浩一	国立病院機構静岡医療センター耳鼻咽喉科	近松一朗	36	日本頭頸部癌学会	2012/6/7-8	松江
頭頸部癌におけるCD14+HLA-DR-単球系ミエロイド由来サブレッサー細胞による免疫抑制効果	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学・国立病院機構静岡医療センター耳鼻咽喉科	豊田実・増山敬祐・近松一朗	101	日耳鼻群馬県地方部会	2012/7/29	前橋
急性期病院における摂食・嚥下リハビリテーションシステムの確立に向けた試み	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	真田恵子・近松一朗	17/18	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会	2012/8/31	札幌
急性期病院における摂食・嚥下リハビリテーションの現状と問題点	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	真田恵子	26	群馬Clinical Oncology Research学会	2012/11/21	前橋
頭頸部扁平上皮癌患者における CD14+HLA-DR-単球系ミエロイド由来細胞による免疫抑制機構	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	近松一朗	115	日本耳鼻咽喉科学会総会	2014/5/14-17	福岡
口腔扁平上皮癌におけるautophagy関連分子の発現と腫瘍浸潤免疫細胞との関係	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高橋秀行・解良恭一・豊田実・小山徹也・近松一朗	38	日本頭頸部癌学会	2014/6/12-13	東京
舌扁平上皮癌におけるautophagy関連分子の発現と腫瘍免疫原性との関係	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高橋秀行・解良恭一・豊田実・小山徹也・近松一朗	35	渋川摂食嚥下研究会	2015/2/3	渋川
急性期病院における多職種連携嚥下回診の現況 ～ エアスコプの使用経験 ～	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	千代田朋子・近松一朗・小宮奈津子	38	日本嚥下医学会	2015/2/6-7	福島
大学病院における多職種協同嚥下回診の取り組み	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	千代田朋子・村田考啓・紫野正人・近松一朗・田澤昌之・和田直樹・白倉賢二・黒崎みのり・小宮奈津子・高城壮登・鈴木淳・森田清理子・金井雅代・金井友理	33	群馬県言語聴覚士会	2015/2/21	前橋
急性期病院における多職種連携嚥下診療の実際 ～ 耳鼻咽喉科医の立場から ～	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高橋秀行・近松一朗	38	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2015/2/27	東京
腫瘍微小環境におけるtumor-associated macrophage (TAM)とCD47発現との関係	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高橋秀行・近松一朗	38	渋川摂食嚥下研究会	2015/8/4	渋川
嚥下障害に対する手術的治療と気管切開術の管理	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	千代田朋子・金井友里・森田清理子・近松一朗	21	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会	2015/9/11	京都
中咽頭癌の化学放射線療法における摂食・栄養パラメータと白血球分画との関係	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高橋秀行・近松一朗	70	日本癌学会	2015/10/10	名古屋
Significance of differential white blood cell counts on dietary/nutritional parameters in oropharyngeal cancer patients with concomitant chemoradiation	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高橋秀行・近松一朗	13	日本免疫治療学研究会	2016/2/27	東京
頭頸部癌患者末梢血の単球サブセットの変化	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高橋秀行・近松一朗	40	日本頭頸部癌学会	2016/6/10	大宮
口腔癌におけるMFG-E8発現と免疫学的・臨床病理学的因子との相関	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高橋秀行・茂木精一郎・解良恭一・豊田実・近松一朗	59	日本甲状腺学会	2016/11/3-5	東京
甲状腺乳頭癌と未分化癌細胞株における免疫系分子発現の相違	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	横堀有紀・高橋秀行・岡本彩子・近松一朗	114	日本耳鼻咽喉科学会群馬県地方部会学術講演会	2016/12/4	前橋
ワイヤレス内視鏡を用いた急性期病院における多職種連携嚥下回診の実際	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	田澤昌之・大谷奈津子・高城壮登・森田清理子・黒崎みのり・伊部洋子・千代田朋子・金井友理・遠藤彩香・村田考啓・紫野正人・横堀有紀・藤村季子・荒木聖美・竹中美貴・白倉賢二・和田直樹・近松一朗	35	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2017/4/14	旭川
免疫チェックポイント分子と頭頸部癌における骨髄系細胞の動向	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高橋秀行・解良恭一・豊田実・近松一朗	118	日本耳鼻咽喉科学会学術講演会	2017/5/18	広島
舌癌組織におけるマクロファージ関連分子の発現とオートファジー作用/免疫細胞浸潤との相関	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高橋秀行・近松一朗	116	日本耳鼻咽喉科学会群馬県地方部会学術講演会	2017/6/4	前橋
頭頸部癌における骨髄系細胞の動向と新規免疫療法	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高橋秀行・近松一朗	41	日本頭頸部癌学会	2017/6/8	京都
頭頸部癌患者における骨髄系細胞の動向と制御	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	安岡義人・小尾紀翔・近松一朗	60	日本甲状腺学会学術集会	2017/10/6	別府
全摘した先天性梨状陥凹19例の解析による起源と経路/臨床症状: 甲状腺と甲状軟骨との位置関係	坂倉浩一	群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	ぐんま耳鼻咽喉科クリニック 頭頸部免疫研究室	122	日本耳鼻咽喉科学会群馬県地方部会学術講演会	2019/6/2	前橋
耳鼻咽喉科一般診療における細胞診の有用性 その1: 血液系細胞	坂倉浩一	ぐんま耳鼻咽喉科クリニック 頭頸部免疫研究室	ぐんま耳鼻咽喉科クリニック 頭頸部免疫研究室	62	日本甲状腺学会	2019/10/11	前橋
開業クリニックの甲状腺FNAにおけるon-site ultrafast stainingの試	坂倉浩一	ぐんま耳鼻咽喉科クリニック 頭頸部免疫研究室					

## 国際学会での英語発表

Alterations in circulating dendritic cells and T cell subsets in patients with squamous cell carcinoma of the head and neck.	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	K. Chikamatsu, T. L. Whiteside, N. Furuya	1	International Symposium on "Biomedical Research Using Accelerator Technology"	Mar. 1, 2005	Maebashi, Gunma, Japan
Alterations in circulating dendritic cells and T cell subsets in patients with squamous cell carcinoma of the head and neck.	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	K. Chikamatsu, T. L. Whiteside, N. Furuya	96	Annual Meeting of American Association for Cancer Research	Apr. 19, 2005	Anaheim, CA, USA
Cytotoxic T lymphocytes responses against HLA class I-restricted wild-type p53-derived peptides in the circulation of patients with head and neck cancer.	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	K. Chikamatsu, E. Appella, T. L. Whiteside, A.B. DeLeo, N. Furuya	97	Annual Meeting of American Association for Cancer Research	Apr. 3, 2006	Washington, DC, USA
HMW-MAA as a potential prognostic marker in chordoma.	K. Sakaku	Department of Surgery, University of Pittsburgh Cancer Institute	JH Schwab, X Wang, S Ferrone		UPCI Annual Retreat 2009	Jun 10, 2009	Greensburg, PA, USA
Expressions of autophagy-related proteins positively correlate with infiltration of immune cells and disease progression in oral squamous cell carcinoma	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	H. Takahashi, K. Kaira, M. Toyoda, T. Oyama, K. Chikamatsu	105	Annual Meeting of American Association for Cancer Research	Apr. 7, 2014	San Diego, CA, USA
Immunological significance of autophagy components accumulated in oral squamous cell carcinoma	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	H. Takahashi, K. Kaira, M. Toyoda, T. Oyama, K. Chikamatsu	5	World Congress of International Federation of Head and Neck Oncologic Societies, 2014 Annual Meeting of American Head and Neck Society	Jul. 15, 2014	NY City, NY, USA
Relation between tumor-associated macrophage (TAM) subsets and CD47 expression on squamous cell carcinoma of the head and neck (SCCHN) in tumor microenvironment	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	H. Takahashi, K. Chikamatsu	106	Annual Meeting of American Association for Cancer Research	Feb. 4, 2015	Philadelphia, PA, USA
Relation between tumor-associated macrophage subsets and CD47 expression on oral squamous cell carcinoma	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	H. Takahashi, M. Toyoda, K. Chikamatsu		The Joint Meeting of 4th Congress of Asian Society of Head and Neck and 39th Japanese Society for Head and Neck	Jun. 5, 2015	Kobe, Hyogo, Japan
Possible relation between tumor-associated macrophage (TAM) subsets and CD47 expression on squamous cell carcinoma of the head and neck (SCCHN) in tumor microenvironment.	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	H. Takahashi, M. Toyoda, K. Chikamatsu		International Conference of Cancer Immunotherapy and Macrophage 2015 (ICCIM 2015; 第19回日本がん免疫学会総会・第23回マクロファージ分子細胞生物学国際シンポジウム合同)	Jul. 9, 2015	Hongo, Tokyo, Japan
Imbalance of circulating monocyte subsets in patients with squamous cell carcinoma of the head and neck.	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Dermatology, Gunma University Graduate School of Medicine	H. Takahashi, S. Motegi, K. Chikamatsu	107	Annual Meeting of American Association for Cancer Research	Apr. 19, 2016	New Orleans, LA, USA
Immunological and clinicopathological significance of MFG-E8 expression on oral squamous cell carcinoma.	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Dermatology, Gunma University Graduate School of Medicine	H. Takahashi, S. Motegi, Kaira K. Toyoda M, K. Chikamatsu	6	World Congress of International Federation of Head and Neck Oncologic Societies, 2016 Annual Meeting of American Head and Neck Society	Jul. 19, 2016	Seattle, WA, USA
Papillary thyroid carcinoma shows immunologically more suppressive features than anaplastic thyroid cancer	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	Y. Yokobori, H. Takahashi, A. Okamoto, K. Chikamatsu	86	Annual Meeting of the American Thyroid Association	Sep. 21-25, 2016	Denver, CO, USA
Pretherapeutic Parameters and Functional Prognosis of Dysphagia in Chemoradiotherapy for Oropharyngeal Cancer	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	Y. Yokobori, H. Takahashi, K. Chikamatsu	25	Dysphagia Research Society	Mar. 2-4, 2017	Portland, OR, USA
Features of circulating monocyte subsets in head and neck cancer	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	Y. Yokobori, H. Takahashi, K. Chikamatsu		International Federation of Oto-rhino-laryngological Societies ENT World Congress Paris 2017	Jun. 24-28, 2017	Paris, France
Immunological characteristics of circulating monocyte subsets in patients with squamous cell carcinoma of the head and neck	K. Sakaku	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	H. Takahashi, SI. Motegi, Y. Yokobori-Kuwabara, T. Oyama, K. Chikamatsu		2nd International Symposium on Tumor-Host Interaction in Head and Neck Cancer, 3rd International Symposium on HPV Infection in Head and	Jan 25-27, 2017	Essen, Germany